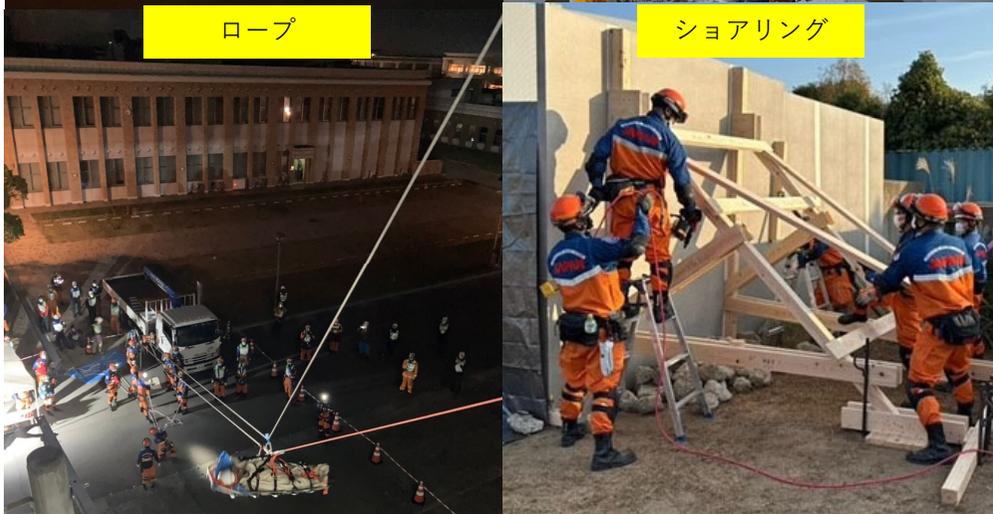


国際緊急援助隊救助チームに対する 国際機関（INSARAG）による能力評価の受検結果

- 「国際消防救助隊（IRT）」がその一員として参加する「国際緊急援助隊（JDR）」救助チームは、海外における大規模災害発生時に被災国政府等の要請に応じて捜索救助活動を実施しています。
- このたび、同救助チームは、「国際捜索救助諮問グループ（INSARAG）」が実施する都市型捜索救助の能力評価（IEC/IER）で分類基準の最上位である「Heavy」の評価を獲得しました。

①活動の様子（36時間におよぶ活動）



②【Heavy】級評価認証式



③消防庁・関係消防本部受検隊員及び関係者



国際緊急援助隊救助チームに対する 国際機関（INSARAG）による能力評価の受検結果

IER受検概要

①受検日時及び場所

- ◎日時：11月8日（火）から11月10日（木）まで
- 場所：兵庫県広域防災センター
ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター

②審査項目

◎外務省、消防庁、警察庁、海上保安庁、JICA及び医療関係者、構造評価専門家による75名の隊員で構成される救助チームが、災害現場を想定した捜索・救助活動を36時間にわたり実施し、約170項目の演習審査等を受けました。

審査は、海外の都市型捜索救助に関する複数の専門家により行われ、救助チームは最上位の「Heavy」の評価を得ています。

③IEC/Rとは

◎INSARAG External Classification / Re-Classification

国際捜索・救助諮問グループ（INSARAG：各国救助チーム間の調整等を目的とした各国の専門家からなるグループ。国連が事務局を務める。）が実施する救助チームの能力を評価する制度で、2005年から開始。

④IEC/R受検経緯

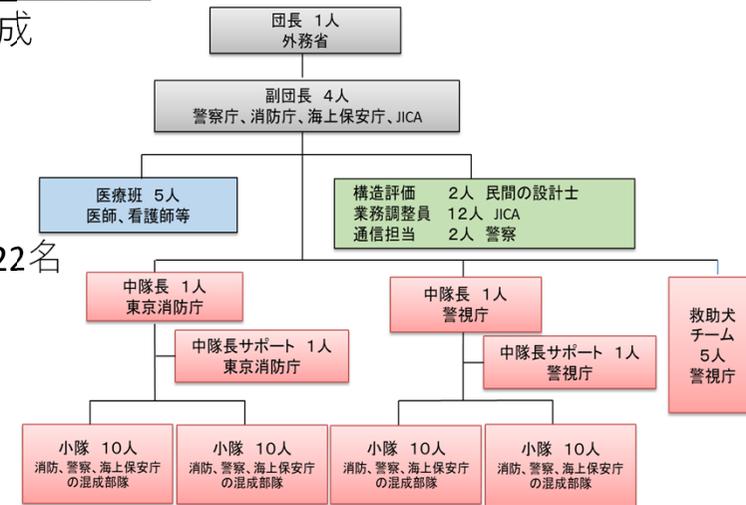
◎IEC/IERにおける評価結果は、被災国において海外からの救助チームの活動現場等を能力に応じ効率的に調整するための指標となることから、国際緊急援助隊救助チームには、災害現場でより一層活躍することが期待されます。

今回の受検は、平成22年のIEC受検、平成27年のIER受検に続き、3回目の受検となりますが、いずれも「Heavy」の評価を得ています。

⑤IERに臨んだJDRの構成

◎JDR救助チーム構成

- ・外務省1名
- ・消防庁1名
消防本部16名
- ・警察庁1名
都道府県警察本部22名
- ・海上保安庁14名
- ・JICA13名
- ・医療5名
- ・構造評価2名
- ・救助犬4頭
(総勢 75名)



国際緊急援助隊(国際消防救助隊)

これまでの派遣の実績



1	1986年	カメルーン共和国(有毒ガス噴出)
2	1986年	エル・サルバドル共和国(地震)
3	1990年	イランイスラム共和国(地震)
4	1990年	フィリピン共和国(地震)
5	1991年	バングラディッシュ人民共和国(サイクロン)
6	1993年	マレーシア(ビル倒壊)
7	1996年	エジプト・アラブ共和国(ビル倒壊)
8	1997年	インドネシア共和国(森林火災)
9	1999年	コロンビア共和国(地震)
10	1999年	トルコ共和国(地震)
11	1999年	台湾(地震)
12	2003年	アルジェリア民主人民共和国(地震)
13	2004年	モロッコ王国(地震)
14	2004年	タイ王国(地震)
15	2005年	パキスタン・イスラム共和国(地震)
16	2008年	中華人民共和国(地震)
17	2009年	インドネシア共和国(地震)
18	2011年	ニュージーランド(地震)
19	2015年	ネパール連邦民主共和国(地震)
20	2017年	メキシコ共和国(地震)
21	2018年	台湾(地震)

■ 専門家チームとして派遣されたもの

□ ⇒ 「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」施行前であったため JICAの短期派遣専門家として派遣されたもの